

2023.11月

# 女性チャレンジ応援拠点だより



## コラム 「コンフリクトへの対処」

11月、関西も紅葉シーズンを迎えます。今年はまた海外からの旅行者が増えているので、名所はどこも混雑しそうです。近所や地元でゆっくり愉しむとしましょうか。

さて今月の『A1 実用元年、際立つ〈あなたならではの〉の想い、チャレンジ』は、「コンフリクト（対立）」について考えます。先月10月は「協調性」でしたが、協調の反対は対立。日常の表立たない反発や反抗から、国家レベルの大きな衝突まで、対立が高じると、取り返しのつかない状況や惨事をもたらします。ただ、わたしたち全ては異質な存在ですから、「コンフリクト」は起こって当然。だからこそ「協調」を必要とするわけですね。

そこでみなさんは、「コンフリクト」に直面しても、その事実を冷静に受けとめましょう。つい感情的になりがちですが、“起こりうること”という認識を、起こる前からしっかり持っておく。避ける、逃げる、ツブすようなことをして、その場をやり過ぎても、先々の弊害は目にみえています。最近のニュースでみれば、契約条件ではまったく採算がとれないのに請けて、ある日突然業務を停止し、結局破産手続きに入ったという大手給食会社の例がありました。

対外的な「コンフリクト」の典型は、「条件が合わない」ではないでしょうか。請けたい仕事だけど、先方のいう条件では無理がある。ここで重要になるのがコミュニケーションスキルの一つ、「交渉」です。事前に内部で十分に検討する、「交渉」の是非を判断する、交渉実行なら先方にタイミングよく丁寧に打診する、検討しやすい説明資料・提出資料を用意する、交渉の場では感情的にならず、先方の事情もしっかり聞きだし、友好ムードに努める、など等がポイントになりま

すが、考えただけで気後れするでしょうか。

でも、避けて通れません。事前の内部検討の段階で、「決してこれだけは譲れない」ということをしっかり決めておき、それが受け入れられない場合は、「交渉決裂もやむなし」という姿勢で臨む。そうすれば、堂々と交渉できるはず。先方はこちらの真剣さやリスクテイクできる度量をみてとるでしょう。結果的に双方が折り合える着地点を見つけられるものです。これを契機に長いお付き合いになる場合も少なくありません。ダメなら潔くかつ穏やかに交渉を断ち、新しい機会に目をむけましょう。チャレンジの長い道のりには起こること、必然です。

内部的な「コンフリクト」も人の集団には付きものですが、だいたいは双方の意識や認識の違いから起こることが多いでしょう。それが日本社会ではあまり目立たないのが特徴で、しだいに仕事の進捗が滞ったり、質が低下したりといった負の連鎖になっているというパターン。例えば、自分たちの活動を理解して参加してくれたはずなのに、工作中的の発言も行動も、“それは違う…”と感じてしまうといったケース。そもそも「理解」はそう簡単にできるものではないので、早いうちに話し合いの場をもつことが肝心です。いずれにしてもコミュニケーションが大事ということですね。

といったところで終わりにしなければなりません。が、「コンフリクト」の時こそ、「人間力」の発揮のしどころですから、受けて立ちましょう！でもちょっと不安なら、「女性チャレンジ応援拠点」をご利用ください。状況に応じた対処をスタッフが一緒に考えます。みなさんのご利用をお待ちしております。

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

### ※ 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

